

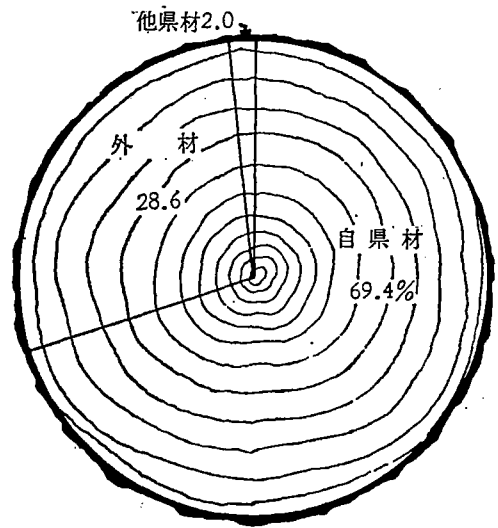
34. 主要林産物の生産と消費

本県の素材生産量は昭和39年以降減少傾向にあったが、昭和40年より若干増加し、41年は359千 m^3 で前年より1.7%と僅かながら増加を示し、県内素材消費量438千 m^3 の82.0%をまかっている。素材入荷量は461千 m^3 で前年に比べ12.4%の増加を示し、殊に外材の入荷が目立っている。

薪炭生産量はエネルギー源の変化に伴い年々減少し、41年は木炭5,264 t、普通薪1,033千束となった。

本県の主要林産物である竹材の41年の生産量は484千束で全国第5位を占めている。

素材入荷量の構成



(単位 1 000 m^3)

年	素材生産量					
	総数	用途別				
		製材用	パルプ用	電柱用	坑丸太用	その他
昭和 35 年	377	318	37	1	4	17
37	363	306	35	2	5	15
38	363	304	34	-	3	22
39	339	284	37	0	1	17
40	353	302	31	0	2	16
41	359	316	26	0	2	15
素材入荷量						
	総数	自県材	他県材	外材	素材消費量	
昭和 37 年	342	28	384	
38	354	47	351	
39	387	287	9	91	377	
40	410	307	5	98	402	
41	461	320	9	132	438	
薪炭生産量						
	木炭	普通薪	しば薪	竹材		
	t	1000束	1000束	束		
昭和 35 年	14 003	1 797	47	695 698		
37	12 816	1 657	113	632 403		
38	10 466	1 852	68	540 700		
39	8 239	1 059	68	476 000		
40	5 875	1 089	56	444 900		
41	5 264	1 033	185	484 000		